ふりがな　　かわぐち　こうへい

氏 名　　川口 康平

1. 学歴

2005 年　3 月　東京大学教養学部超域文化科学科卒業

2010 年　3 月　東京大学大学院経済学研究科修士課程修了

2015 年　6 月　ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス経済学部 PhD 修了

2. 職歴・研究歴

2015 年 7 月 －　一橋大学大学院経済学研究科専任講師

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

（a）学部学生向け

基礎ミクロ経済学

（b）大学院

産業経済学Ⅰ，産業経済学Ⅱ

C. 講義およびゼミナールの指導方針

基礎ミクロ経済学：学生が基礎ミクロ経済学の基本的な理論を理解し，消費者行動の分析，生産者行動の分析，部分均衡/一般均衡分析などの理論的な分析ができるようになることを目的とする。授業は簡単なモデルに基づく解析的な議論と具体的な例を用いたディスカッションを組み合わせて行う。毎週，主に理論の習得を目的とした宿題を課す。試験は宿題の問題と似た形式の持ち込み禁止の試験とすることで，復習による知識の定着をはかる。授業の使用言語は日本語とする。

産業経済学Ⅰ，Ⅱ：学部向け産業経済学の授業で教えるような産業経済学の理論的側面についての理解を前提とした上で，それらの理論とデータを組み合わせて政策上の課題に実証的に答えるための計量経済学的手法を身につけさせることを目的とする。トピック終了毎に統計用プログラミング言語Rを用いて具体的なシミュレーションや推定を行う宿題を課す。本講義を通じて，1）研究者志望の者には構造推定を用いて研究を行うための基礎，2）実務家志望の者にはシンクタンク，経済コンサルティングなどで専門性をもったエキスパートとして活躍するのに十分なだけのスキル，を習得させる。授業の使用言語は英語とする。

4. 主な研究テーマ

1） 構造推定による企業，組織行動の分析

2） フィールド実験による消費者，組織行動の分析

3） 顕示選好の公理に基づく消費者行動の分析

5. 研究活動

A. 業績

（b）論文（査読つき論文には*）

* "Testing Rationality without Restricting Heterogeneity", *Journal of Econometrics*, 197(1), 2017, pp.153-171.

B. 最近の研究活動

（a）国内外学会発表（基調報告・招待講演には*）

"Testing Rationality without Restricting Heterogeneity", International Symposium on Econometric Theory and Applications, Shanghai, 20 May, 2012.

"Testing Rationality without Restricting Heterogeneity", Econometric Society European Meeting, Malaga, 31 August, 2012.

"Decentralized Learning in a Retail Network", Annual International Industrial Organization Conference, Boston, 24 April, 2015.

"Inferring the Strategic Use of Inventories", Kyoto Summer Workshop on Applied Economics, Kyoto, 4 July, 2015.

"Decentralized Learning in a Retail Network", Summer Workshop on Economic Theory, Otaru, 7 August, 2015.

"Decentralized Learning in a Retail Network", The World Congress of the Econometric Society, Montreal, 21 August, 2015.

"Delegation and Productivity in a Retail Business", Trans-Pacific Labor Seminar, Santa Barbara, 29 March, 2016.

"Dynamic Oligopoly with Financing Friction: The U.S. Airline Industry After the Deregulation", Summer Workshop on Economic Theory, Otaru, 9 August, 2016.

"Dynamic Oligopoly with Financing Friction: The U.S. Airline Industry after the Deregulation", EARIE, Lisbon, 26 August, 2016.

" Industry Dynamics with Bailout Policies: The U.S. Airline Industry after the Deregulation", The Econometric Society Winter Meeting, Chicago, 7 January, 2017.

（b）国内研究プロジェクト

科学研究費補助金若手研究（B）「企業の情報処理能力と生産性：企業内データ・企業内フィールド実験による分析」（No.16K17111），2016－2018 年度（研究代表者）。

6. 学内行政

（b）学内委員会

入学試験実施専門委員会電算部会（2016 年 4 月 － 2017 年 3 月）

7. 学外活動

（b）所属学会および学術活動

The Econometric Society

American Economic Association

（d）その他

2015 NERA, Affiliated Academic